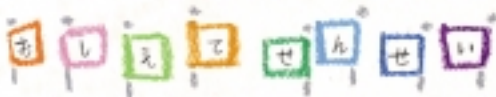


教えて先生



ママの悩み



1歳8ヵ月の子どもがおり、最近仕事を始めました。実家の両親がみてくれてはいませんが、私が帰ってくると泣いて離れてくれず、私はご飯も食べられない状態です。今は、甘えさせてあげるべきだと思い、子どもの言いなりですが、このままで私たち親子は成長できるのでしょうか…。

A

ご質問を読ませていただき、一番に感じたことは、「相談のお子さんは「ママが大好きなのだろうな」ということです。子どもにとって気持ちを受け止めてくれる、安心できる存在は、ママなのでしょう。日中は、きつとおしいちゃん、おばあちゃんが、愛情深くお子さんを見てくださっていることと思いますが、それ以上にママのことが大好きなのでしょう。

一方、ママの方は、仕事で疲れ果てて、「早く食事を済ませ、お風呂に入り、なるべく早く寝かせたい。明日の仕事の準備もしなくちゃ。」というように頭の中は、忙しい毎日のことについていかなるではないでしょうか？

働きながら子育てをするママの大変さは、私自身も同じですからよくわかります。1歳8ヵ月になれば、かなりおとなの言っことも理解できます。自分でやろうとする気持ちも芽生え、自らご飯を食べようしたり、トイレにも行けるようになってきている。それなのに、食事をするようにするママから離れずに泣いてばかりいると、「どうしてなの？」と思ってしまう気持ちも解らないではありません。

しかも、ママ自身も「今は甘えさせてあげるべきだ」と考え、お子さ

んの言うことを聞いてあげていらつしやるのですね。なのに、お子さんは「泣いて離れてくれない」という状態で困っていらつしやる…。もしかしたら、お子さんは自分の言うことを聞いてもらう前に、大好きなママに「今日頑張ったよ」「ママが帰ってきて嬉しいよ」「ずっとそばにいたいよ」とその気持ちを受け止めてもらいたいのではないでしょうか。ギュッと抱きしめてもらい、まだまだ上手に言葉で説明できない気持ちを肌で受け止めてもらえば、少しずつ泣くのも収まってくると思います。まず、泣いて訴えているお子さんの気持ちを汲み取り、その汲み取った気持ちを体と言葉で「応答」してみてください。

保育園に通う0歳児の子ども達も、時間経過と共に少しずつママが仕事に行くことがわかって、自分から「バイバイ」ができるようになってきます。が、ママがいつまでも「子どもを預けて働く」ということに後ろめたさを感じていると、朝の「バイバイ」がなかなか上手にいかないという事例もあります。ママが「後ろめたさ」や「悩み」を持つより、「ママも頑張ってくるよ」「あなたもおじいちゃん、おばあちゃんと楽しい一日を過ごしてね」と積極的な気持ちで、しっかりと抱きしめて、朝のス

キンシップも取るようにしてはいかがでしょうか？親子の絆をしっかりと結ぶスキンシップで満足してくれば、少しずつ変化が見られますよ。

最後に、「私たち親子は成長できるのだろうか？」とお悩みのようですが、結論から言うと、それは大丈夫、成長できますよ。児童精神科医の佐々木正巳先生の言葉に「育児以上に、創造性のある仕事を私は知らない」というのがあります。育児はその親子が創造していくものだ、私も子育ての中で人間的ふくらみを増したことを実感しています。育児の中で乗り越えなければならぬ壁は、これからも度々発達の節目毎に出てくると思いますよ。その都度、その「壁」を上手に乗り越えていくことで、親子が共に成長していくのです。

ご相談のママとお子さんの目の前にある「壁」を乗り越えるために、その方法をぜひ創造していただきたいと願っています。その1つのヒントになれば嬉しいです。



村上 里絵先生
むらかみ りえ

- 1985年 日本保育学会会員
- 1996年3月 福岡教育大学大学院教育学研究科学校教育専攻修士課程修了(教育学修士)
- 1996年9月 近畿大学九州短期大学通信教育部 非常勤講師
- 1998年4月 麻生医療福祉専門学校 非常勤講師
- 1999年4月 北九州市保育所連盟保育士会「応答的保育研修」指導講師
- 2001年4月 光沢寺中井幼稚園 副園長
光沢寺保育園子育て支援センター アドバイザー
- 2002年9月 福岡県立大学 非常勤講師
- 2003年5月 北九州市社会福祉研修所「乳幼児保育講座」「中堅研修」指導講師
- 2005年4月 西南学院大学短期大学部 非常勤講師